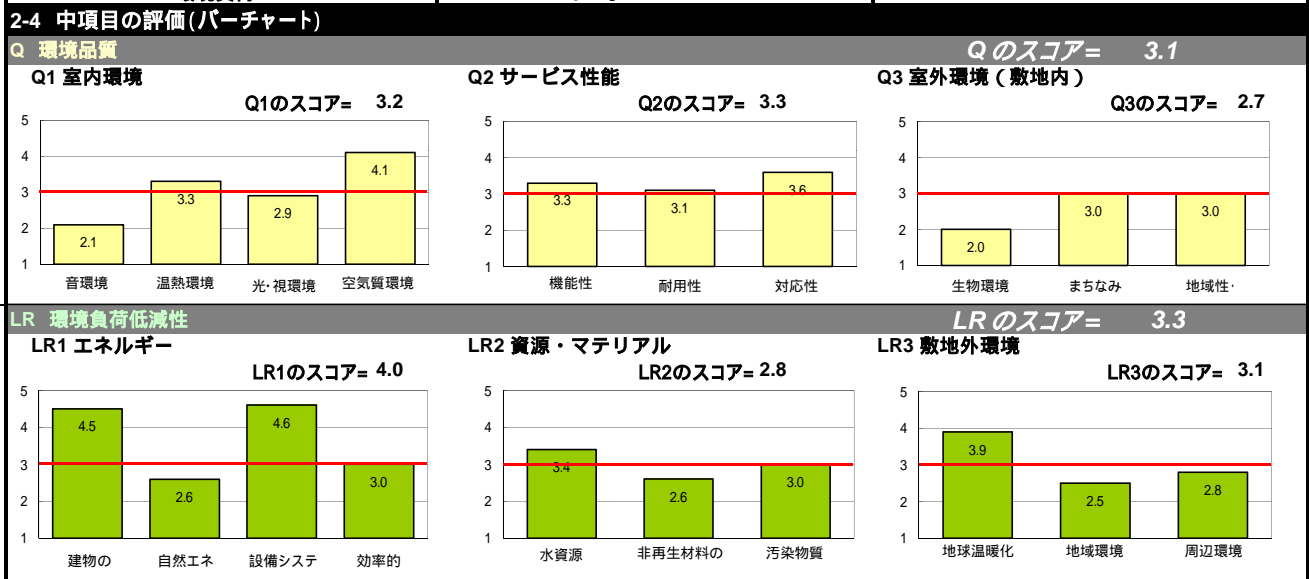
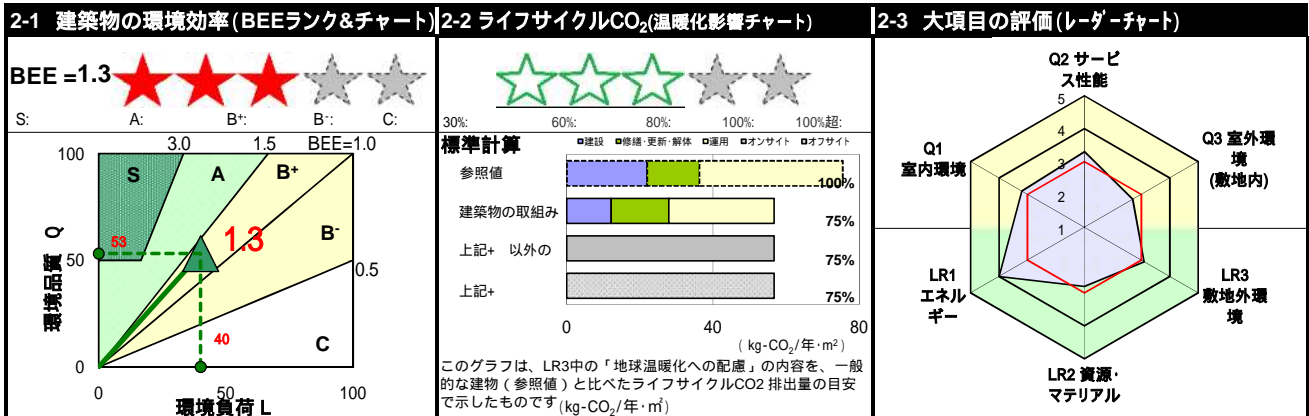


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大滝町二丁目地区第一種市街地再開発事業	階数	地上38階地下2階塔屋2階
建設地	横須賀市大滝町二丁目6番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域、第三種高度地区	平均居住人員	3,300 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店、工場、集合住宅、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年11月 予定	評価の実施日	2015年11月6日
敷地面積	3,998 m ²	作成者	株式会社INA新建築研究所
建築面積	3,327 m ²	確認日	2015年11月6日
延床面積	47,951 m ²	確認者	株式会社INA新建築研究所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合 住宅部分は、オール電化とし省エネルギー化を図るとともに、専有部は高い遮音性能を確保して居住性に配慮している。また、地震だけでなく風対策にも効果のある制震構造とすることで、高層部の居住性を高めている。横須賀中央駅前初の超高層建築物としてのランドマーク性を確保しつつ、周辺環境や景観に配慮した計画としている。		その他 ・LED照明、EV車充電設備を設置している。
Q1 室内環境 ・居住部の遮音性能に配慮している。 ・化学汚染物質放散量の少ない建材を全面的に採用している。	Q2 サービス性能 ・居住部の高度情報通信設備に対応している。 ・維持管理に配慮した設計としている。 ・制震装置を導入している。 ・住宅性能表示劣化対策等級3、給排水管の更新等に配慮。	Q3 室外環境(敷地内) ・周辺環境との調和を図るとともに駅からの視線に配慮する等、まちなみ・景観に配慮している。
LR1 エネルギー ・住宅専有部に電気ヒートポンプ式給湯器を設置する等、設備システムの効率化を図っている。	LR2 資源・マテリアル ・節水型機器等を採用し節水に配慮している。 ・適切なコンクリート・鉄筋・鉄骨強度とし、材料使用量の削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・適切な量の駐車場、駐輪場、荷捌き用車両駐車スペースを確保し、交通負荷抑制に配慮している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される